

関西学院大学の建物にある聖句

関西学院大学の建物には、聖句が刻まれ教育の姿勢が示されています。

旧原田の森キャンパスで最もよく知られたものは、神学館の玄関に刻まれたヨハネによる福音書 8 章 32 節の「真理將使爾得自主」（真理はあなた方を自由にする）であり、当時の神学部のモットーとされていました。その後、移転した上ヶ原キャンパス^{※1}では、学院創立 70 周年を迎えるころからいくつかの建物には以下のような聖句が刻まれるようになりました。

・第 5 別館「求めよさらば与えられん」（マタイによる福音書 7 : 7）

→新共同訳：求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

・社会学部校舎「真理はなんぢらに自由を得さすべし」（ヨハネによる福音書 8 : 32）

→あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

・理学部校舎（本館）「愛をもって互いに事へよ」（ガラテヤ 5 : 13）

→兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

この聖句のプレートは、2001 年夏の理学部移転に伴い神戸三田キャンパスに移設された。

・法学部校舎「あなたのみことばはわが足のともしびわが道のひかりなり」（詩篇 119 : 105）

→あなたの御言葉は、わたしの道の光／わたしの歩みを照らす灯。

・新大学図書館「あなたたちは真理を知り真理はあなたたちを自由にする」（ヨハネ福音書 8 : 32）

→あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

・F 号館「わたしたちは、見えるものではなく見えないものに目を注ぐ」（Ⅱコリント 4 : 18）

→わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

・人間福祉学部は、マタイによる福音書 5 : 13 「あなたがたは地の塩である」を、国際学部は 5 : 14 の「あなたがたは世の光である」をそれぞれ学部聖句としています。

・2006 年に建て替えられた吉岡記念館ベルスクエアに設けられたスイングベルにはギリシャ語でコロサイの信徒への手紙 3 章 14 節の「愛は、すべてを完成させるきずなです」が、さらに第 3 フィールド入り口の碑にはローマの信徒への手紙 5 章 4 節「忍耐は練達を、練達は希望を生む」が記されている。

また、神戸三田キャンパスでは、総合政策学部の理念を表すものとして、「仕えられるためにではなく、仕えるために」という言葉が I 号館エントランスホールに刻まれている。

これは“Mastery for Service”にちなんで引用される、マルコによる福音書 10 章 45 節（→人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人を身代金として自分の命を献げるために来たのである）をやや意識した表現です。

宝塚キャンパス、初等部はルカによる福音書 2 章 40 節「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」を聖句としている。

また、中央講堂（125 周年記念講堂）は、詩篇 23 「主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ憩いの水のほとりに伴い魂を生き返らせてくださる」を聖句としている。

※1：1928 年 2 月には上ヶ原キャンパスの起工式が執行され、29 年 2 月よりトラック、牛馬車で移転を開始し、予定どおり 3 月 31 日に完了した。

